

令和8年度第1回壬生町企画委員会会議 議事録

会 議 名		令和8年度第1回壬生町企画委員会 会議
日 時		令和8年 7 月8日(火) 13:30~15:30 まで
場 所		壬生町役場 特別会議室 1・2
出席者氏名	委員	島田委員(会長)、山杉委員(副会長)、斎藤委員、樺沢委員、山縣委員、岩渕委員、大橋(好)委員、鯉沼委員、大山委員、阿部委員、倉石委員、木村委員、落合委員、出井委員
	事務局	小菅町長、大垣総務部長 総合政策課 増田課長、大栗係長、内藤主査、落合主査、大木主事
欠席者氏名		小西委員、栃木委員、
議 題		1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 委員・事務局紹介 4. 会長・副会長の選出について 5. 審議 議題① 壬生町デジタル田園都市国家構想総合戦略に関する審議 議題② 壬生町国土強靱化地域計画に関する審議 議題③ デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に関する審議 新しい地方経済・生活環境創生交付金に関する審議 第2世代交付金に関する審議 6. その他(事務連絡) 7. 閉会
配布資料名		配布資料: 壬生町デジタル田園都市国家構想総合戦略 壬生町国土強靱化地域計画 地方創生拠点整備交付金事業効果検証シート 壬生町創生総合戦略効果検証シート 国土強靱化地域計画効果検証シート

1. 開会

(増田総合政策課長が司会・進行)

(欠席委員の報告)

2. 町長あいさつ

(小菅町長あいさつ)

3. 委員・事務局紹介

4. 会長・副会長の選出について

(島田会長あいさつ)

(山杉副会長あいさつ)

5. 審議

諮問

(小菅町長より島田会長に諮問)

(公務により町長退席)

議題① 壬生町デジタル田園都市国家構想総合戦略に関する審議

事務局より事業説明。

【質疑応答】

倉石委員：今回からあたらしい戦略ということで進捗の状況など分からないということなのですが、プロモーションといったところでは先日出川のバイク旅のような特集で壬生が出て、県外の友人から連絡が来て若い人の中でも栃木や壬生という名前が広まってきているのかなと思う。地域を支える産業のところでは「壬生町に安定した雇用を創出する」のところではコストコだったりカインズだったりベイシアだったり壬生町で雇用形態が上がってきていると思う。獨協やおもちゃ団地ができて何十年と経っており、そこに勤めるといって若い世代は少なくなっていると思う。結婚、出産を通して雇用形態を見直していく中で、パートタイムの仕事がしやすい接客業などが増えてきて良いと思う。

島田会長：ベイシア壬生町に対して雇用はこのくらいあるよという話はあるのか。

⇒(増田課長)：個別な話は来ていないが、広告等ではかなりの人数募集しているようで、良い企業に来ていただいたことで地域の方にとってプラスになっていると思う。いろんな職を選べるという状況は町としては非常にありがたいと感じている。

鯉沼委員：観光ボランティアについては毎年どれくらい活用しているか。

⇒(増田課長)：具体的な数字は掴んではいないが、多くの協力をしていただいているという認識である。竹あかりの取り組みを含め、旧城下町壬生の盛り上げに尽力いただいている。

樺沢委員：合計特殊出生率が令和5年で0.98ということで全国平均や県平均と比べ低いが、町ではどう分析しているのか。令和6、7年の数値がなく実際は上がっているのかもしれませんが、住みよさ県内1位であることと少々ギャップがあるように感じ不思議に思った。

⇒(大垣部長)：何が原因かは日ごろから研究している。他の市町と比べて住みにくいということもなく選んでいただける中で、1つ理由として考えられるのは獨協医科大学という大きな病院があり、分母となる若い女性が多いわりに出生数は昔と比べ増えていないということが挙げられる。ただ、同じ大学病院を抱える下野市の方は合計特殊出生率も高い水準で維持しているということもあるので、こちらについては住民福祉部と共に検証して、理屈が通るような説明を用意できるようにしたい。実際の出生数については、コロナ禍あけてから200人、170人といったところまで低下した年もあり、出産適齢人口が減少している影響は感じているところ。若い方に住んでいただいて、出生数をキープできるような施策を展開していかなくてはならないと考えている。

山縣委員：デジタル田園都市国家構想総合戦略という名は立派だが、内容を見るとデジタルをどう町として活用していくのかといった内容が見えない。どういう方向性でやっていきたいのか。例えば県内で電子投票の話題があるがああいったものを推進するという話があれば具体的でなるほどと思うが、デジタル、DXという言葉だけ出てきていて具体的に何をどうしていきたいのかが見えない。自治会連合会でも、DXに

については取り組んでいるが、町の方向性が見えてこないことには動きようがない状況がある。

⇒(大栗係長):デジタル田園都市国家構想総合戦略については、立派な名前がついているがもともと国で定める地方創生の計画の後継として位置付けられた計画に県や町が連動してこの戦略を作っているという関係でこういった名称となっている経緯があるため、ご理解ご了承ください。

また、デジタル化についての町の方向性としては、実際のところ検証中であるというのが本音のところである。デジタルが便利であるということは言われてきて久しく、新たなツールを導入するなど試行しているが、ツールを入れればすぐに便利で、町民の皆さんにとっての利便性も上がるかというそう簡単ではなく、皆様からの意見も踏まえ良い形を模索していきながら進めていきたい。

⇒(増田課長)補足として、町ではオンライン申請を推進しており、役場に来なくても手続きができる環境整備を目指している。町民皆様が全員そういったものを使いこなせるわけではないことも承知しており、それでも苦手な方が少しでも便利だなと感じられるようスマホ教室等を通じて利用する機会の創出もサポートしている。デジタル難民を切り捨てるのではなく、苦手な方にとっても優しいデジタル化の方法を模索しているところである。時代のデジタル化の流れと行政のデジタル化のスピード感には乖離があるのは確かであるが、一步一步進めていきたいと考えている。

阿部委員:子育て世代の中には、子どもの小学校下校までに帰れる短時間パートをしている人やしたい人がいる。その場合学童保育は利用できず、夏休みなどの長期休みの際に預け先がないことから仕事ができないことがある。長期休みのみの学童保育の利用は、低学年ではできないことが多くそれ以降の学年も学童によって対応が様々である。学童保育も色々な働き方にマッチした形で実施していただけるようお願いしたい。

⇒(大栗係長):担当課に共有する。

大山委員:子育て支援アプリミコナをもっと活用すべきではないか。そういったところで子育て支援や出生数改善につなげていけないか。また、観光 DX アプリ「Plaru(ぷらる)」を活用した実証実験を壬生町で実施しているという記事があるが、こちらには記載がないがどのように活用しているのか教えてほしい。記載しないのかなという疑問もあり。

⇒(大栗係長):さらに利用促進できるよう子育て支援アプリについてはもっと PR・広報していきたい。

また、観光 DX アプリの方は不勉強で把握しておらず申し訳ない。担当課に確認する。

⇒(大垣部長):子育て支援アプリミコナについて補足だが、アプリというより電子版の母子手帳みたいなもので、お子さんの生年月日を登録すると予防接種の時期をお知らせする機能などがあり、出生の際や、お子さんの定期健診の際に保護者へは登録を促しており、該当する年代の方々にはそれなりに活用いただいているものと思っている。

島田会長:「壬生町デジタル田園都市国家構想総合戦略に関する審議」について適当ということによろしいか。

委員:全員承認

議題② 壬生町国土強靱化地域計画に関する審議

事務局より説明。

【質疑応答】

山縣委員：P8 の目標 1、自主防災組織の整備率について、以前より申し上げていることではあるが、防災士の数は増えてきており、各自治会に数名は存在している状況がある中で、自主防災組織を作りたいがらない自治会長がいる自治会も多く課題となっている。要因として 1 年交代で自治会長が代わる自治会が全体の約 7 割で、知らん顔していれば作らなくてもやり過ごしてしまう。組織できている 39 自治体は 1 年交代の自治体でないから作れたという実態がある。町としてこのくらい自主防災組織を作りたいという目標を掲げるならば、会長が 1 年交代の自治会にどうアプローチ、支援していくのか具体性がないと自治会連合会としても動けない。

⇒（大垣部長）：自主防災組織については、山縣委員がおっしゃられたように自治会長の防災意識が高いところでは組織できているというのは大いにあると思う。異常気象の中で災害も頻発する恐れがある中で、それでも災害に見舞われるリスクがある中で、個人的には特に浸水想定区域の自治会には、率先して働きかけ、自主防災組織の発足を促していくべきだと考えている。去年は新規の設立件数が 0 件だったこともあり、総務課の方にも働きかけリスクの高いエリアを中心に積極的に自主防災組織を作っていただけるようにしていきたい。

島田会長：「壬生町国土強靱化地域計画に関する審議」について適当ということによろしいか。

委員：全員承認

議題③ デジタル田園都市国家構想推進交付金・新しい地方経済・生活環境創生交付金・第 2 世代交付金に関する審議

事務局より説明

阿部委員：体育館のエアコンについて全学校に入るのはいつ頃になるのか？

⇒（増田課長）：来年度中にはすべて入る予定。一部学校では、電源の工事を要するため今年度その工事を実施して来年度エアコン設置というスケジュールのため、早い学校では今年度中、遅くても来年度には入る予定である。

島田委員：町の体育館は、緊急避難所にもなっているがエアコン整備や耐震化の予定はどのようなか？

⇒（増田課長）耐震診断は今年度実施予定で、その結果にもとづきどういった方向性にしていくのかを検討する予定。

島田委員：新しくリニューアルした道の駅がオープンしたが、レストランのオープンが 11 時で遅いように思う。また、外にメニューがないため、二階まで上がらないとメニューを見ることができない。下にメニューを置いて目で見てもらって集客すべきではないか。

⇒（増田課長）委員からいただいた意見も含め道の駅について様々なご意見をいただいていますので、ラシックに繋いで改善を図ってまいりたい。

大山委員：旧役場庁舎跡地のイベント広場は今後どうやって活用していく予定か。

⇒（大栗係長）具体的な案があるというわけではなく、ふらっと壬生テラスⅠ階に入ってもらっているコミュニティカフェを運営する主体の方にイベント等実施していただけないか画策している。

島田会長：「デジタル田園都市国家構想推進交付金・新しい地方経済・生活環境創生交付金・第２世代交付金に関する審議」について適当ということでよろしいか。

委員：全員承認

（休憩）

6 答申

（島田会長より町長に答申）

7 その他

事務局：次回の会議は、10月下旬に開催を予定しており、総合振興計画の審議になります。

本日は、円滑な会議進行にご協力いただきありがとうございました。